

第1期総合戦略と第2期総合戦略の構成比較

第1期

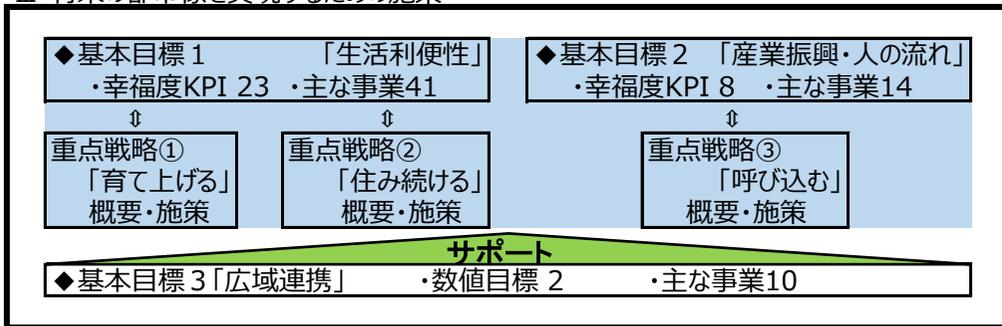
○人口ビジョン  
・人口動向の分析から導出される主な課題

若年層転出抑制  
手稲区等転出抑制  
札幌との違い  
通勤通学者  
出生率改善  
労働条件改善

I はじめに  
下記について、当市の状況と求められることを概観  
・人口減少と少子高齢化の進行  
・社会情勢の変化  
・地域のつながりや郷土愛の希薄化  
・交通ネットワーク

II 基本的な考え方  
1 まちづくりの考え方  
社会情勢の変化に対応した自治体経営のあり方、経営力を高める基本的考え方  
2 地域の特性に配慮した地区別戦略の考え方  
下記3地区について「概況」「発展方向」「施策の体系」を掲載  
北西部・中部・東南部  
3 空間・土地利用の考え方  
概況を示し、下記3項目について取組が必要なものを例示  
生活しやすく魅力的な都市空間の創出  
海の観光資源化と沿岸部の防災・減災対策  
都市環境と自然環境の保全

III 将来の都市像を実現するための施策



10の施策の方向性を通じて

複数の施策を集約し、総合的・一体的なパッケージとして取組

○ あずまい暮らしプロジェクト 目標 あずまい暮らしを実現 数値目標 3 主な事業と施策KPI 11	○ 樽っ子プライド育成プロジェクト 目標 地元定着を実現 数値目標 4 主な事業と施策KPI 19
○ にぎわい再生プロジェクト 目標 雇用創出を実現 数値目標 4 主な事業と施策KPI 18	○ あんしん絆再生プロジェクト 目標 高齢者等の安心な暮らし 数値目標 4 主な事業と施策KPI 14

第2期

○ 人口ビジョン【時点修正。国に合わせ、一部構成等変更】  
・人口動向の分析から導出される主な課題【基本的に変更なし】  
若年層転出抑制 ・ 手稲区等転出抑制 ・ 札幌と異なる住環境アピール  
市外からの通勤通学者の転入 ・ 出生率改善 ・ 労働条件改善  
・10の施策の方向性【第1期から順序入替】  
安定雇用 ・ 若者の地元定着 ・ 街並み自然を生かした交流の場  
子育て世代が安心して働く ・ 子育てしやすい ・ 教育環境向上と次世代づくり  
健康いきがい ・ 医療介護 ・ 交通アクセス改善 ・ 広域連携

○ 総合戦略

I はじめに【時点修正】  
本市の状況と求められることを概観し、趣旨、計画人口等を記載  
・人口減少と少子高齢化の進行  
・社会情勢の変化  
・地域のつながりや郷土愛の希薄化  
・交通ネットワーク など

II 基本的な考え方  
・SDGsとの関係を記載【新設】  
1 人口減少・少子高齢化への対応【新設】  
第7次総合計画、商大共同研究について概観  
2 地域の特性に配慮した地区別戦略の考え方【総合計画を勘案して修正】  
下記3地区について、「概況」「発展方向」を掲載  
北西部・中部・東南部

III 基本目標  
第2期の重点事項（方向性）を記載  
・基本目標【国準拠】  
国の4つの基本目標に準じ、施策・事業を整理  
◆基本目標1 小樽市にしごとをつくり安心して働けるようにする  
◆基本目標2 小樽市への新しいひとの流れをつくる  
◆基本目標3 若い世代の妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、未来のつくり手を育む  
◆基本目標4 誰もが活躍できる地域社会をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する  
基本目標 - 数値目標 - 基本的方向 - 複数の施策パッケージ - 施策KPI・主な事業

○ 総合戦略アクションプラン  
目標・施策ごとに区分した、地方創生・人口対策に効果的と考えられる事業を一覧表示

※ 第1期総合戦略のII 基本的考え方のうち、  
1 まちづくりの考え方は、第7次総合計画にあるため、第2期戦略には掲載しないこととした。  
3 空間・土地利用の考え方は、他の部分との重複が多いため、掲載しないこととした。  
ただし、課題提起している部分もあることから、その部分は第2期の関係部分に記載することとした